



短い、みじかい恋文表彰式

2月6日、鳥羽水族館で平成28年度「短い、みじかい恋文」の水族館長賞の表彰式が行われました。水族館長賞は鳥羽出身で東京都在住の鈴木真弓さんが受賞し、記念の盾などが贈られました。作品は亡くなったお父さんへの想いを詩にしたもので、今回の受賞に鈴木さんは「とてもうれしい。元気な母にプレゼントができた」と受賞を喜びました。

作品の応募総数は3,724点で、入賞作などをまとめた作品集を鳥羽歴史文化ガイドセンターで配布しています。



「青峯さん」で賑わう正福寺

2月14日(旧暦の1月18日)に青峯山の正福寺で御船祭が開催されました。境内には多くの露店が並び、また、たくさんの鮮やかな大漁旗がなびくなど、厳かさの中に華やかさが際立つ独特な雰囲気でした。

カメラを片手に訪れていた岩倉町の北川さんは「毎年青峯山を登って写真を撮る」と、大漁旗で彩られた境内の様子を撮影していました。また、相違町で海女をしている井村さんと浅野さんは「元気に漁に出られますように」と海上安全を祈願しました。



新校舎にAEDを寄贈

2月末に完成を予定している市立神島小中学校の建設施工業者である株式会社川木組から同校にAEDが寄贈されました。

2月7日に市長室を訪れた川木組の川木正浩社長は「いざというときにAEDで命が助かっている事例がたくさんあるので建設にあたり寄贈しようと思った」と思いを話してくれました。



フラダンスで繋がる鳥羽とハワイ

2月5日、かもめホールでフラ・ハラウ・オ・ナーモミピリアロハのみなさん約50人がハワイから講師のオラナ・アイさんを招き、フラダンスの指導を受けました。

ステップや振り付けを確認したり「リラックス」などのアドバイスを受け、参加したかたは「本場の先生の指導を受けられて幸せ」と振り返り、見送りの際には赤いハンカチを振って再会を約束しました。